Q DWGの図面をフロアごとにレイアウトを分けて表示したい

A1 ビュー名を設定し、それぞれのビュー専用に変更します

A2 基準フロアを指定し、[フロアの表示/非表示]を設定します

1 枚の平面図に各フロアの図面が表示されている DWG 図面をフロアごとのレイアウトに分けたい場合、それぞれのビューのビュー専用に指定する方法と、フロアごとの図面の要素に基準フロアを設定し、レイアウトに[フロアの表示/非表示]を設定する方法があります。



▼A1 ビュー名を設定し、それぞれのビュー専用に変更します

既存のレイアウトをコピーして、各フロアのレイアウトを作成します。DWG 図面を表示しているレイアウト名を右クリックし、[コピー]をクリックします。



追加したレイアウト名をダブルクリックしてレイアウト名を変更します。ここでは「GL」と入力します。



3 追加したレイアウトのビュー名を変更します。ビュー名横の[▼]より[プロパティ]を開きます。ビューの「名前」で、GL のビュー名に変更します。



●補足説明

DWG を「ビュー専用」で読み込んでいる場合、ビュー名を変更しようとすると下記のメッセージが表示されます。

ビュー名の変更	×
🧘 ビュー専用の要素が存在します。	
○ これらの要素を「GL平面図」ビュー専用に変更する	
※ 同名のビューでも表示されるようになります。	
● これらの要素をそのままにしておく	
※ 変更後は表示されなくなります。	
ビューの確認 OK 2 キャンセ	2.16

[これらの要素を「〇〇」ビュー専用に変更する]にチェックを入れると、元のビューの専用要素は3で変更した名前のビュー専用要素となり、3で変更した名前のビューにのみ表示され、元のビューでは非表示になります。

[これらの要素をそのままにしておく]にチェックを入れると、元のビューの専用要素は元のビューにそのまま表示されます。

ここでは7と8の手順で最初に開いていたレイアウトでGL以外のフロアの要素を原点の位置に合わせて移動してから、 3で変更した名前のビュー専用要素に切り替えるため、[これらの要素をそのままにしておく]にチェックを入れ、[OK]をク リックします。(ビュー専用についての詳しい説明は、FAQ「「ビュー専用」「ビュー共通」「平面ビュー共通」の違いは何か」 を参照ください。)

4 最初に開いていたレイアウトに戻り、GL フロアの要素を選択します。 5 コンテキストメニューから[プロパティ]を開きます。[ビュー共通/専用]を「ビュー専用(3 で名前を変更したビュー 名)」に切替えます。

ビュー専用に変更すると、元のビューからは非表示になり、3 で設定したビューにのみ表示されます。 レイアウトタブをクリックして 2 で作成した「GL」のレイアウトを開きます。

	すべて (11237)		\sim	
	共通			
	名称			È
	注釈			3
	レイヤー区分	汎用		Ĵ
	レイヤーグル	392用 事務所ビル基準階平面図.dwg		Ê
	レイヤー			٦
	ペーパー/モデ	モデル		
	ビュー共通/…	(ビュー専用(平面図)	\sim	ł
Ξ	デザイン	ビュー共通		Ē
	色	平面ビュー共通		
	太さ	ビュー専用(正面図)		
	線種	ビュー専用(平面図)		L.
	CG色	ビュー専用(平面全体図)		2
Ξ	フロアと高さ	ビュー専用(右面図)		١
	基準フロア	ビュー専用(右前面図)		K
	高さ	ビュー専用(RFL平面図)		N
	系統管理	ビュー専用(GL平面図)		
	フロア+部屋	ビュー専用(3FL平面図)。		1
	幾何情報	ビュー専用(2FL平面図)		ų
	基準点	ビュー専用(1FL平面図)		
	識別情報			3
	要素クループ			

6 原点位置を合わせます。ビュー名横の[▼]より[原点]にチェックを入れて原点座標を表示します。 [表示]タブの[原点移動]を選択して、原点を通り芯の交点など基準となる位置に移動します。



,他のフロアの要素は原点に合わせて移動してからビュー専用に変更します。



その他 アラウンドビュー C G ウィンドウ(視点指定)

C G ウィンド
ブロパティ
ズ 選択の解除

Rebro よくある質問

9 移動した要素を選択し、1FL のビュー専用に変更します。7~9の作業をフロア分繰り返して、すべてのフロアをビュー専用に変更します。



▼A2 基準フロアを指定し、[フロアの表示/非表示]を設定します

田存のレイアウトを⊐ピーして、各フロアのレイアウトを作成します。DWG 図面を表示しているレイアウト名を右クリックし、[⊐ピー]をクリックします。

		新規作成
	8	削除
	8	שלי 🔓
	2	登録
		タブの色
		タブの非表示・
		グループの編集
		用紙サイズ
		フロアの表示/非表示
	1	別ファイルを追加読み込み
	3	別ファイルとして保存
		プロパティ
レイアウトグループ1		🛛 4方向図 平面全体図 🕞 🕇

2 追加したレイアウト名をダブルクリックしてレイアウト名を変更します。ここでは「GL」と入力します。 1~2の作業をフロア分繰り返して各フロアのレイアウトを作成します。



最初に開いていたレイアウトに戻り、GLフロアの要素を選択します。



4 コンテキストメニューから[プロパティ]を開きます。[基準フロア]を「GL」に切り替えます。

= 9/((11237)	`
□ 共連	
名称	
注釈	
レイヤー区分	汎用
レイヤーグループ	事務所ビル基準階平面図.dwg
レイヤー	
ペーパー/モデル	モデル
ビュー共通/専用	平面ビュー共通
🗆 デザイン	
色	white
太さ	
線種	
CG色	▶ 灰色(50%)
□ フロアと高さ	
基準フロア	フロア指定なし
高さ	RFL
□ 系統管理	3FL
フロア+部屋	2FL
□ 幾何情報	1FL
基準点	GL N
□ 識別情報	フロア指定なし
要素グループ	
要素名	

- GL のレイアウトタブを右クリックし、[フロアの表示/非表示]を選択します。
- 5 GL 以外のフロアのチェックを外し、[OK]をクリックすると、GL フロアの要素のみを表示させることができます。 3~5までの作業を繰り返し、他フロアも同様の設定をします。



- GLのレイアウトを開き、原点位置を合わせます。
 - ビュー名横の[▼]より[原点]にチェックを入れて原点座標を表示します。 [表示]タブの[原点移動]を選択して、原点を通り芯の交点など基準となる位置に移動します。



7 最初に開いていたレイアウト(各階が表示されているレイアウト)に戻り、他のフロアの要素を原点に合わせて移動します。



ビュー名横の[▼]より[原点]をクリックして原点座標を表示します。

8 移動元の基準点と移動先の基準点(原点)を指定し、原点位置に移動します。 7~8の手順で他のフロアの要素も原点に合わせて移動します。



●補足説明

ビュー名を変更したレイアウトで何も表示されていない場合や、表示位置がずれている場合は、ビュー名横の[▼]より[フィット]をクリックして表示位置を調整します。

